



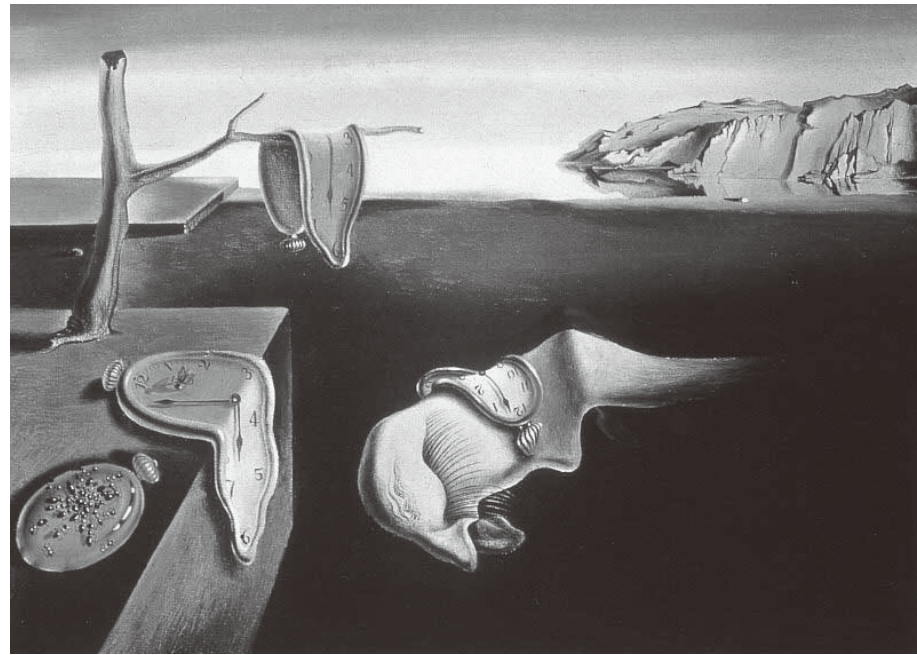
諸橋近代美術館は現在、冬期休館中です。

その間、当館の所蔵作家でスペインが生んだ

20世紀の巨匠サルバドル・ダリ(1904-1989)の

作品に登場する‘食べもの’を紹介します。

‘アートと食’、ダリの謎めいた秘密に迫ります。



作品写真「記憶の固執」1931年 MoMAニューヨーク近代美術館所蔵  
© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, SPDA Tokyo, 2012

第1回

## 「溶ける時計」カマンベールチーズ

正確に時を刻む時計は近代化の象徴とも言えます。ダリはこの機械的な社会に振り回される人間の理性を解放しようと、時計を溶かすという大胆な発想をします。その時計が溶けるイメージは夕食で食べたカマンベールチーズから想起しました。食べられるもの、光るもの、とろけるもの、チーズのもつこれらの要素にダリは何とも言えぬ魅惑を感じたのでした。